



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 東ソー株式会社

コード番号 4042 URL <http://www.tosoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇田川 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 理事 経営管理室長 (氏名) 河本 浩爾

TEL 03-5427-5123

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	311,794	△15.2	4,819	△77.8	4,446	△76.1	310	△96.9
24年3月期第2四半期	367,740	14.2	21,663	115.4	18,632	161.7	9,930	307.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △641百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 9,552百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.52	0.52
24年3月期第2四半期	16.60	16.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	699,450	195,848	23.8
24年3月期	708,720	200,197	24.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 166,804百万円 24年3月期 171,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650,000	△5.4	20,000	△15.7	22,000	△11.2	8,000	△14.7	13.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	601,161,912 株	24年3月期	601,161,912 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	2,483,044 株	24年3月期	2,757,887 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	598,528,276 株	24年3月期2Q	598,291,150 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成24年11月6日(火)に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. 補足情報	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)のわが国経済は、震災復興需要等により緩やかな回復の兆しが見られたものの、世界経済の減速による外需の落ち込みにより、期後半には持ち直しの動きが鈍化しております。

このような情勢の下、当社グループの連結業績は、景気減速による需要の減退及び海外市況の軟化、並びに昨年11月に発生した南陽事業所第二塩化ビニルモノマー製造設備事故の影響により、売上高は3,117億94百万円と前年同期に比べ559億45百万円(15.2%)の減収となりました。営業利益は、エチレンアミンを始めとする主力製品の海外市況軟化に伴う交易条件の悪化等により、48億19百万円と前年同期に比べ168億43百万円(77.8%)の減益、経常利益は44億46百万円と前年同期に比べ141億86百万円(76.1%)の減益、四半期純利益は3億10百万円と前年同期に比べ96億20百万円(96.9%)の減益となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

石油化学事業

エチレン及びプロピレン等のオレフィン製品及びキュメンは、定期修理年等の影響による生産減少に伴い出荷が減少いたしました。また、ナフサ価格の下落によりエチレン・プロピレンの製品価格が下落し、キュメンの海外市況も軟化いたしました。

ポリエチレン樹脂は、太陽電池封止膜の需要減退によるエチレン酢酸ビニルコポリマーの出荷減少並びに輸入品増加の影響等により、国内販売を中心に出荷は低調に推移いたしました。クロロブレンゴムは、欧州及びアジア地域での需要減退により、出荷が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ172億25百万円(16.1%)減少し896億29百万円となり、営業利益は前年同期に比べ46億65百万円(58.7%)悪化し32億78百万円となりました。

クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、南陽事業所第二塩化ビニルモノマー製造設備事故による電解製造設備の生産制限の影響並びに国内需要の減退等により、国内外ともに出荷が減少いたしました。一方、国内販売価格については値上げを実施し、海外市況も上昇いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、事故の影響により出荷が減少し、海外市況も軟化いたしました。

セメントは、国内出荷は堅調に推移しましたが、輸出は減少いたしました。

ウレタン原料は、海外市況が上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ282億24百万円(20.8%)減少し1,072億18百万円となり、営業損益は前年同期に比べ51億71百万円悪化し50億68百万円の損失となりました。

機能商品事業

エチレンアミンは、アジア地域での需要の減退による需給バランス悪化を受け、国内外ともに出荷が減少し、価格も下落いたしました。臭素及び臭素系難燃剤は、出荷が減少いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、全自動エンザイムイムノアッセイ装置の出荷が増加いたしました。

電解二酸化マンガンは、乾電池の流通在庫調整に伴い出荷が減少いたしました。ハイシリカゼオライトは、自動車排ガス触媒向けの出荷が増加いたしました。ジルコニアは、歯科材料向け等の出荷が堅調に推移いたしました。石英ガラスは、半導体・液晶市場の需要減退により出荷が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ95億88百万円(13.1%)減少し635億23百万円となり、営業利益は前年同期に比べ56億10百万円(55.7%)悪化し44億59百万円となりました。

エンジニアリング事業

水処理装置・薬品は、国内外における設備投資やメンテナンス、改造工事の延期などにより売上高が減少いたしました。

建設子会社の売上は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ5億19百万円(1.6%)減少し318億65百万円となり、営業利益は8億79百万円(40.8%)悪化し12億75百万円となりました。

その他事業

商社及び物流子会社の売上は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ3億87百万円(1.9%)減少し195億57百万円となり、営業利益は前年同期に比べ5億15百万円(37.1%)悪化し8億74百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金の減少等により、前期末に比べ92億69百万円減少し6,994億50百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前期末に比べ49億20百万円減少し5,036億2百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い等により、前期末に比べ43億49百万円減少し1,958億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災復興需要等から、引き続き国内需要は底堅さを維持することが予測されるものの、欧州や中国等の経済情勢を巡る不確実性が高まる中、世界経済の更なる下振れリスクの懸念もあり、予断を許さない事業環境となっております。

このような環境の下、販売数量の拡大、適正価格の維持、コスト低減等、収益力の回復に向けてあらゆる施策を実施してまいります。

通期の業績予想につきましては、足下での需要の減退等を考慮し、平成24年5月10日に公表した予想値を下記のとおり修正いたしました。

なお、通期業績における下期の前提については、国産ナフサ価格を55,000円/KL、為替レートを78円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	720,000	29,000	31,000	14,000	23.40
今回発表予想 (B)	650,000	20,000	22,000	8,000	13.37
増減額 (B-A)	△70,000	△9,000	△9,000	△6,000	
増減率 (%)	△9.7	△31.0	△29.0	△42.9	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	687,131	23,737	24,773	9,379	15.67

詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益が128百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ130百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,701	52,457
受取手形及び売掛金	165,563	176,240
商品及び製品	72,132	72,796
仕掛品	8,895	9,910
原材料及び貯蔵品	40,884	37,403
その他	26,425	27,321
貸倒引当金	△709	△722
流動資産合計	380,893	375,408
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	92,302	88,672
土地	73,630	73,680
その他(純額)	85,305	84,368
有形固定資産合計	251,239	246,721
無形固定資産	3,292	2,401
投資その他の資産		
投資有価証券	37,710	34,387
その他	36,172	41,177
貸倒引当金	△587	△645
投資その他の資産合計	73,295	74,919
固定資産合計	327,827	324,042
資産合計	708,720	699,450

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,042	91,583
短期借入金	198,484	203,293
1年内償還予定の社債	16	16
未払法人税等	5,194	2,670
引当金	9,904	7,262
その他	27,291	30,272
流動負債合計	334,933	335,098
固定負債		
社債	24	16
長期借入金	145,033	140,917
退職給付引当金	17,588	17,655
その他の引当金	2,555	2,118
その他	8,387	7,795
固定負債合計	173,589	168,503
負債合計	508,522	503,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,633	40,633
資本剰余金	30,053	30,053
利益剰余金	109,047	105,745
自己株式	△946	△848
株主資本合計	178,788	175,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,938	648
繰延ヘッジ損益	△2	△2
土地再評価差額金	888	793
為替換算調整勘定	△10,544	△10,217
その他の包括利益累計額合計	△7,719	△8,779
新株予約権	258	277
少数株主持分	28,870	28,765
純資産合計	200,197	195,848
負債純資産合計	708,720	699,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	367,740	311,794
売上原価	296,876	260,923
売上総利益	70,864	50,871
販売費及び一般管理費	49,201	46,052
営業利益	21,663	4,819
営業外収益		
受取利息	89	77
受取配当金	666	418
持分法による投資利益	796	69
受取保険金	95	3,357
その他	1,093	927
営業外収益合計	2,741	4,850
営業外費用		
支払利息	2,513	2,213
為替差損	2,781	1,514
塩化ビニルモノマー製造設備停止に係る費用	—	1,195
その他	476	300
営業外費用合計	5,772	5,223
経常利益	18,632	4,446
特別利益		
固定資産売却益	—	46
投資有価証券売却益	—	140
損害賠償金収入	—	232
特別利益合計	—	419
特別損失		
固定資産除却損	221	397
投資有価証券評価損	44	870
減損損失	430	58
その他	61	16
特別損失合計	757	1,343
税金等調整前四半期純利益	17,875	3,522
法人税等	7,618	3,156
少数株主損益調整前四半期純利益	10,257	365
少数株主利益	326	55
四半期純利益	9,930	310

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,257	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,143	△1,264
繰延ヘッジ損益	△9	△2
為替換算調整勘定	379	358
持分法適用会社に対する持分相当額	67	△98
その他の包括利益合計	△705	△1,007
四半期包括利益	9,552	△641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,080	△748
少数株主に係る四半期包括利益	471	106

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,875	3,522
減価償却費	22,069	17,999
減損損失	430	58
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,961	83
受取利息及び受取配当金	△755	△496
支払利息	2,513	2,213
為替差損益(△は益)	176	110
持分法による投資損益(△は益)	△796	△69
投資有価証券評価損益(△は益)	44	870
固定資産売却損益(△は益)	—	△30
固定資産除却損	221	397
売上債権の増減額(△は増加)	2,658	△10,628
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,987	1,822
仕入債務の増減額(△は減少)	3,155	△2,562
その他	△5,109	△5,066
小計	28,533	8,224
利息及び配当金の受取額	1,371	632
利息の支払額	△2,589	△2,261
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,278	△5,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,037	905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△10,207	△12,526
固定資産の売却による収入	—	63
投資有価証券の取得による支出	△9	△49
投資有価証券の売却及び償還による収入	13	4
貸付けによる支出	△1,395	△2,616
貸付金の回収による収入	1,424	2,524
その他	638	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,535	△12,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,175	5,988
長期借入れによる収入	17,526	22,246
長期借入金の返済による支出	△26,853	△27,900
社債の償還による支出	△8	△8
配当金の支払額	△1,792	△3,580
少数株主への配当金の支払額	△243	△213
その他	△97	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,644	△3,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,104	△15,192
現金及び現金同等物の期首残高	52,662	67,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,557	52,167

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	106,854	135,443	73,112	32,385	19,945	367,740	—	367,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,113	16,105	7,533	3,414	21,989	105,155	△105,155	—
計	162,968	151,548	80,645	35,800	41,934	472,896	△105,155	367,740
セグメント利益	7,944	102	10,070	2,154	1,390	21,663	—	21,663

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	89,629	107,218	63,523	31,865	19,557	311,794	—	311,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,041	13,903	5,656	4,347	20,419	80,369	△80,369	—
計	125,671	121,122	69,179	36,213	39,976	392,163	△80,369	311,794
セグメント利益 又は損失(△)	3,278	△5,068	4,459	1,275	874	4,819	—	4,819

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

2012年度第2四半期連結決算概要平成24年11月1日
東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	増 減	2011年度	2012年度(予想)
売 上 高	3,677	3,118	△ 559	6,871	6,500
営 業 利 益	217	48	△ 168	237	200
経 常 利 益	186	44	△ 142	248	220
四 半 期 (当 期) 純 利 益	99	3	△ 96	94	80
1株当たり四半期(当期)純利益	16円60銭	0円52銭	△16円08銭	15円67銭	13円37銭

(2)指標

(単位:億円)

	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	増 減	2011年度	2012年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	79.74	79.41	△ 0.33	79.06	78.70
国産ナフサ価格(円/KL)	56,950	55,300	△ 1,650	54,925	55,150
設 備 投 資 額	100	145	44	193	270
減 価 償 却 費	215	169	△ 45	432	350
研 究 開 発 費	63	60	△ 3	129	120
期 末 有 利 子 負 債	3,510	3,442	△ 68	3,436	3,250
金 融 収 支	△ 18	△ 17	0	△ 37	△ 30
自 己 資 本 比 率 (%)	23.7	23.8	0.1	24.1	—
期 末 従 業 員 数 (人)	11,312	11,374	62	11,238	11,350

(注)億円未満は四捨五入

(3)トピックス

- 2012年11月予定 南陽事業所のジルコニア粉末製造設備の生産能力を増強
- 2013年春予定 四日市事業所のハイシリカゼオライト製造設備の生産能力を倍増
- 2013年春予定 東ソー日向が化学合成法マンガンの製造設備を新設
- 2014年秋予定 南陽事業所の第三塩化ビニルモノマー製造設備の生産能力を増強
(40万トン → 60万トン/年)

(4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,069	896	△172	△157	△15	—	—
	営業利益	79	33	△47	△26	—	3	△24
クロル・アルカリ	売上高	1,354	1,072	△282	△269	△13	—	—
	営業利益	1	△51	△52	△68	—	△21	38
機能商品	売上高	731	635	△96	△27	△69	—	—
	営業利益	101	45	△56	△14	—	△50	7
エンジニアリング	売上高	324	319	△5	△3	△2	—	—
	営業利益	22	13	△9	△7	—	0	△2
その他	売上高	199	196	△4	△3	△1	—	—
	営業利益	14	9	△5	△5	—	0	0
合計	売上高	3,677	3,118	△559	△459	△100	—	—
	営業利益	217	48	△168	△120	—	△68	19

(注)億円未満は四捨五入

(5) 業績予想

(単位:億円)

		2011年度	2012年度(予想)	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,933	1,839	△94	△106	12	—	—
	営業利益	125	80	△45	△18	—	△28	1
クロル・アルカリ	売上高	2,438	2,243	△195	△207	12	—	—
	営業利益	△100	△52	47	8	—	3	36
機能商品	売上高	1,353	1,272	△80	△20	△60	—	—
	営業利益	131	104	△26	△12	—	△31	17
エンジニアリング	売上高	745	770	25	22	3	—	—
	営業利益	57	48	△9	△6	—	0	△3
その他	売上高	402	376	△26	△26	△1	—	—
	営業利益	24	20	△4	△3	—	0	△1
合計	売上高	6,871	6,500	△371	△336	△35	—	—
	営業利益	237	200	△37	△31	—	△56	50